

NEWS

水戸医療センター広報誌

vol.98

2024.4



特集
能登半島地震における災害派遣対応

診療科紹介

目の健康寿命をできるだけ延ばしましょう
眼科医長 平塚 さや香

Doctor's Interview

耳鼻咽喉科 統括診療部長
瀬成田 雅光

- 地域の医療機関のご紹介
- 診療科各科担当一覧表



独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

TEL 029-240-7711

FAX 029-240-7788

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番地

<https://mito.hosp.go.jp/>



能登半島地震における災害派遣対応

2024年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を襲った地震（最大震度7）は、同地域に甚大な被害を及ぼした。水戸医療センターは、超急性の時期から国や石川県、医師会などの要請に応じ、国立病院機構（NHO）災害医療初動班をはじめ、日本DMAT（災害派遣医療チーム）2回、DMATロジスティックチーム1回、JMAT茨城（日本医師会災害医療チーム）2回などの現地派遣に加え、茨城県庁DMAT調整本部にも人員を派遣し、茨城県の能登地震災害派遣の中核を成したと言っても過言ではない。発災以来、2ヶ月以上にわたる切れ目のない様々な支援形態は、被災地・受援側にとって望まれる派遣体制であり、茨城県唯一の基幹災害拠点病院としての責務を十分に果たしていると考えている。

茨城DMAT調整本部 1月5日～10日

塚田診療情報管理士

地震発災後、1月5日に茨城県に対して第3次派遣要請が発出された。茨城県として派遣要請を受諾し、DMAT調整本部を設置するために茨城県庁へ登庁し、本部活動を開始した。

DMAT調整本部では、DMAT指定医療機関より派遣した13チームへ、高速道路の走行等に関して、宿泊先の確保が困難な場合の代行、不測の事態への対応等、後方支援が主たる活動となった。

13チームの移動中や活動中、自院へ無事に到着するまでの管理となったが、交通事故もなく、心身共に特に問題はないことを確認し、ホッと一安心したところで10日に撤収した。その後も派遣は続き、DMAT調整本部は2月22日をもって閉鎖した。



茨城DMAT (各要請)	D	M	L	派遣	活動場所
JMAT 能登災害センター (14:45)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
石川中央病院 (14:45)	1	3	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
高崎聖十字院 (14:45)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (16:50)	1	2	5	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
日本赤十字病院 (17:21)	1	1	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (17:56)	1	2	2	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
城西病院 (18:30)	1	3	2	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
上野原病院 (18:40)	2	2	2	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (18:50)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
茨城県庁DMAT調整本部 (19:30)	1	3	2	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (19:45)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (19:50)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (19:55)	1	2	2	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
宇都宮中央病院 (19:55)	1	2	1	DMT	能登半島被災地 (能登半島) 13病院 (13)
1/6 13病院 14チーム	15	30	21	66	

茨城DMAT第3次派遣隊 1月6日～9日

山名医師・中村副看護師長・田中看護師・本杉薬剤師

輪島市役所に設置された輪島市保健医療福祉調整本部で本部活動を行った。この時期は、指定避難所の他に自主的に設置される避難所が多く、介護・福祉施設を含め、被災状況の把握が困難だった。ロジスティックチームや日赤救護班と協働し、DMATやNHO初動医療班等各支援チームの活動調整、避難所等の物資調整を担当した。

また、市役所内で避難生活を送っている市民の往診、アクセス困難な地域からの体調不良者の診察、感染症対策の検討を行い自衛隊と共に対応した。他、災害処方箋の運用開始にあたり、薬剤師として即応した。

発災当初で情報が錯綜する中、交通事情や天候の影響もあったが、到着後からの多岐にわたる活動の中で求められた役割を担うことができたのではないかと。



NHO初動医療班 1月11日～15日

米山医長・長渡看護師長・佐藤副看護師長・伊藤薬剤師・長谷川庶務係長

NHO現地対策本部の指示の下、輪島市内の3か所の避難所で診療支援を行なった。

初日に活動した小学校では、発熱患者5名に対しCOVID-19及びインフルエンザの検査を実施した。うち4名がCOVID-19陽性(残り1名はみなし陽性)、更に1名はインフルエンザも陽性であり、避難所内で感染が蔓延している状況であった。

2日目以降は公民館にて避難所のアセスメントを行い、検査及び診療支援、感染制御に対する指導等を行った。また、輪島市保健医療福祉調整本部の追加の指示にも応じ、本部活動や避難所における巡回診療も担った。

活動期間中は33人の診療を実施し、必要に応じて災害処方箋を発行し調剤・投薬を行った。活動期間中は、他のNHO初動医療班とも協働しながら役割を担った。



茨城DMAT第6次派遣隊 1月22日～25日

石上医長・薄井看護師・神定看護師・塚田診療情報管理士

珠州市総合病院に設置された病院支援指揮所で本部活動を行った。派遣当時は徐々に医療機能が回復しつつあり、DMATが担っている業務を病院側へ移管していく移行期であった。

同院では被災した看護師の職場復帰が困難な状況であることから、入院患者数を制限し運営していた。夜間は同院の医師・看護師の負担軽減のため、病棟や救急外来業務を災害支援看護師と協同で担っていたが、同院の医師や看護師と協議を重ね、自助自立に向けた段取りを整えた。

同院へ、DMATの撤収を知らせる事は非常に心苦しいことであったが、いずれは自立して病院を運営しなくてはならない。その橋渡しを上手くできたかと今でも考えてやまない。



ロジスティックチーム 2月17日～20日

塚田診療情報管理士

DMATロジスティックチームに対して、第6次派遣要請が発出された。私の活動場所は珠洲市保健医療福祉調整本部で決定し、17日の午前中に現地入りして本部活動を開始した。珠洲市へは、DMATチームでの派遣に引き続き2回目の現地入りとなった。

ロジスティックチームは2月20日での撤収を予定していたことから、発災当初からの業務整理と本部運営を担う支援チームへの引き継ぎが主たる活動となった。引き継ぎ先はDHEATに決定し、業務マニュアルの作成を行いつつ引継ぎを行った。

各支援チームも撤収の目途（2月末等）をつけはじめたことから、現地の保健医療福祉機能が回復してきた兆しであり、能登半島の生活全般を含めて軌道に乗ることを願ってやまない。



JMAT茨城 第1次隊 2月26日～3月1日 第4次隊 3月6日～10日

第1次 安田救急医療部長・遠藤医師・打矢看護師長・田中診療放射線技師

第4次 坂根医師・菊池看護師・伊藤薬剤師

石川県庁内に設置されたJMAT金沢以南調整支部で統括業務および避難所巡回活動などを行った。いまだ約1万2千人が指定避難所の他、自主避難所で被災後生活を送っていた。発災後、避難所で心肺停止者が2件発生した事態から、現場活動隊は対象エリアである金沢、加賀、小松、白山、野々、内灘の全避難所に対してローラー作戦を展開し、地道な医療ニーズ把握を行った。大阪、福岡、鹿児島など全国のJMATと協働した現場活動のほか、

県庁JMAT調整本部との連携、派遣調整や新着JMAT対応などコアチームとして活動した。

発災から約2ヶ月が経過し、3地区（石川県北、県央、金沢以南）に派遣期間の空白なくJMATを連続派遣する茨城から14都道府県ほか、長期に渡り様々な支援活動が行われてた。石川県、各被災医療機関で地元医療復活という結果で早期に実を結ぶことを願っている。



目の健康寿命をできるだけ延ばしましょう

眼科医長 平塚 さや香

当院では、アイフレイルをもたらす疾患
(ドライアイ、老視、白内障、緑内障、加齢性黄斑変性症など)
の患者さんの診療を積極的に行っています。



皆さんの周囲に「最近何となく見づらいな…」とか、「眼鏡をかけても良く見えない」とか、「目がしょぼしょぼして疲れやすい」とか「視野の中心がゆがむ気がする」などとおっしゃっている方、あるいは自身が感じていらっしゃる方はいないでしょうか？「歳のせいだから仕方ないか…」などと諦めてはいないでしょうか？

このような目の不調をもたらす原因として、最近になり、日本眼科啓発会議が「アイフレイル」という概念を提唱しました。これは、加齢に伴って眼の脆弱性が増加することによって、様々な外的・内的要因が加わることによって視機能が低下した状態、また、そのリスクが高い状態を言います。

アイフレイルをもたらす疾患には、ドライアイ、老視、白内障、糖尿病など、治療介入により改善が期待できるものから、緑内障や加齢性黄斑変性症など放置すると重篤な視機能障害をもたらすものまで含まれています。これらのアイフレイルを放置すると、視機能障害だけではなく、患者さんの自立機能低下、日常生活（読書、運転、スポーツ、趣味などの人生の楽しみ）の制限を伴うようになります。

当院では、このような様々な訴えのある患者さん、或いは人間ドックなどで異常を指摘された患者さんの診療を積極的に行っています。

高齢化に伴い増えてきた白内障の患者様には、積極的に白内障手術をお勧めしております。

点眼麻酔にて15分程度で終わり、日帰り手術も可能ですが、当院のような総合病院では1泊での入院手術も行っております。当院では保険適応外の多焦点レンズは扱っておりませんが、保険適応内で使用できる多焦点眼内レンズは扱

っており、ある程度の老視軽減も可能です。患者様のご希望に応じ、最適なレンズをご提案いたします。

緑内障治療に関しては、ひと昔前までは自覚症状が出てから受診して手遅れになってしまいます方もいましたが、現在は光干渉断層検査(OCT)等を通して、視野異常が出現する前の早期の状態から発見が可能になりました。是非、40歳を過ぎた頃から、家族歴のある方や強度近視などのリスクのある方は、検診を受けてみて下さい。

網膜の中心の黄斑に出血やむくみなどが生じて徐々に視力が下がってしまう黄斑変性症に関しましても、最近には様々な治療薬（抗VEGF製剤）が開発されており、長期に視力を維持することが可能になってきました。当院では、それぞれの治療薬の効果や、費用の面の負担などを考慮し、患者様に最適と思われる治療薬を使って診療しております。

その他、当院は総合病院という特性上、抗癌剤治療中の方や様々な全身疾患をお持ちの方に合併する眼疾患の診療に当たっております。例えば、悪性リンパ腫の眼内浸潤の方や、免疫機能低下に伴って生じるウイルス性網膜炎の方などで、副作用の面から全身治療が行えない方などに対する眼局所治療なども可能です。また、眼底疾患の重症度が高く、硝子体手術などの更なる治療が必要な場合には、筑波大学附属病院やその関連施設などへご紹介させていただき、最良の治療をご提案させていただきます。

このように、当院では患者様の健康寿命をできるだけ伸ばすお手伝いをさせていただき取り組みを行っておりますので、お困りの方がいらっしゃれば一度ご紹介いただければと思います。

脳神経外科 脳神経外科医長 中村 和弘

日立総合病院から赴任しました脳神経外科の中村和弘と申します。茨城県内で脳卒中を中心に24年間脳神経外科として働いてきました。国立水戸病院も含め、水戸医療センターは3回目の赴任になります。よろしくお願いいたします。

外科 医師 宮澤 恒持

水戸地域の医療に貢献できるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

皮膚科 皮膚科医長 安重 佳祐

今年度より、皮膚科科長の任を拝しました、安重佳祐(あんじゅうけいすけ)と申します。前職は筑波大学付属病院での診療を行っておりました。当院での皮膚科医は私一人となり、提供できるサービスに限りがございます。しかしながら、患者様お一人お一人と真摯に向き合い、ご満足いただける医療の提供を目指してまいります。

歯科口腔外科 歯科口腔外科医長 薬師寺 孝

はじめまして、2024年4月より水戸医療センター歯科口腔外科に勤務します薬師寺孝と申します。歯を含む口腔領域は、食事をしたり、会話をしたりなど重要な役割を担っています。地域の先生方と連携のもと、少しでも患者さんの歯と口腔の健康増進に寄与できたらと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

外科 専攻医 大曾根 龍汰

茨城県出身で、医師3年目の外科専攻医として勤務しております。外科医として地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

消化器科 専攻医 岸本 希実

地域の皆様のお力になれるよう精一杯がんばります。

血液内科 専攻医 原 浩ノ輔

筑波大学附属病院血液内科より赴任となりました原浩ノ輔と申します。地元も出身も県外であり元々は縁もゆかりもございませんが、今回縁あって茨城県で血液内科をやっていく事といたしました。茨城県は面積が広く、特に県北については血液内科を擁する病院が少ないため、本院が県北、県央の血液医療を担っているとの事とあります。様々な年齢層、疾患の患者様がいらっしゃり、大変勉強になると感じる一方、いかに本院が重要な位置づけとなっているのかを感じ、身が引き締まる思いです。血液内科として勤めますのは今年度からとなり、ご迷惑をおかけする事も多分にあるかと存じますが、先輩の先生方のように患者様方から慕われるような存在となれるよう、一層精進して参ります。

脳神経外科 医師 小沼 邦之

茨城県の医療に貢献できるよう尽力してまいります。

形成外科 形成外科医長 佐々木 正浩

主に乳房再建、頭頸部再建、小児先天異常（唇顎口蓋裂）、血管腫血管奇形に従事してきました。宜しく願い申し上げます。

循環器内科 医師 石井 雄一郎

2024年4月より循環器内科医師として着任いたしました、医師10年目の石井雄一郎と申します。筑波大学附属病院循環器内科に所属し、虚血性心疾患、心血管インターベンション治療を中心に循環器診療に従事してまいりました。急性期から慢性期まで幅広くより良い医療を提供できるよう心がけたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

外科 専攻医 田部田 厚史

医師4年目、外科専攻医の田部田厚史と申します。地域医療に貢献できるように研鑽していく所存です。よろしくお願いいたします。

外科 専攻医 幸寺 巴香

はじめまして。4月より半年間外科で研修させていただきました3年目の幸寺巴香と申します。短期間ではありますが、水戸医療センターで働けることを楽しみにしておりました。ご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

血液内科 専攻医 小田 卓弥

はじめまして。栃木県出身、筑波大学卒業で、土浦で初期研修をして筑波大の血液内科に入局と生粋の北関東人です。親切的な先生方や職員の皆さんに助けられ、日々楽しく働いております。当院は地域の高度医療を一手に担っており、今年度は血液以外にも広く学べばと思っています。皆様ご指導よろしくお願いいたします。



循環器内科 専攻医 横須賀 由季

皆様はじめまして。4月に新たに着任しました横須賀由季と申します。山口大学を卒業し、就職を機に地元である茨城県に戻ってまいりました。水戸済生会総合病院、筑波大学附属病院を経て、当センター勤務のご縁をいただきました。現在は循環器内科医として研鑽を積みながら、循環器疾患全般の診療に携わっております。微力ながらも患者様の力になれるよう、今後も精進して参ります。至らぬ点は多々ありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科 専攻医 河野 哲

4月より赴任した耳鼻科の河野（こうの）です。地域の医療に貢献できるよう、日々取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

臨床研修医 井坂 淳乃介

まだまだ新芽のような私たちですが、この桜の郷の地で「桜」のように皆さんに笑顔を届ける医師になれるよう日々精進して参ります。どんな些細なご指摘でも私たちの成長の糧になると確信しております。ぜひご指導よろしくお願い致します。

臨床研修医 河田 泰良

秋田大学から来ました。河田泰良です。出身は神奈川県です。中高では陸上を大学ではスキー(クロスカントリー)をしていました。至らない部分が沢山あると思います、ご迷惑をお掛けしてしまうことも多々あると思います。先に謝らせてください。すみませんでした。出来る限り皆さんの足を引っ張らないよう頑張ります。よろしくお願い致します。

臨床研修医 神宮 理人

4月より初期研修医として水戸医療センターに入職いたしました神宮理人と申します。わからないことだらけで先生方やメディカルスタッフの方々にご迷惑をおかけする場面が数多くあると思いますが、一日でも早くチーム医療の一員になれるよう日々精進いたします。何卒ご指導並びにご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

臨床研修医 田添 あき穂

4月より2年間お世話になります。ひとつひとつの経験を大事にして着実に成長できるよう、頑張ります。よろしくお願い致します。

臨床研修医 日谷 優憲

令和6年4月1日より初期研修医として働かせていただく日谷優憲と申します。初めてで慣れないことも多いですが、同期と協力・切磋琢磨しながら、先輩方の助けも借りて頑張っていきたいと思っております。患者さんに寄り添える医師になれるよう精進して参ります。よろしくお願い致します。

呼吸器科 専攻医 平 晃誠

4月より赴任いたしました平と申します。これまでの2年間は県南地域で研修しており3年目にして初めて県北地域で研修させていただくことになりました。不慣れな点多くお手数をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努めますのでよろしくお願い致します。

臨床研修医 青木 理沙

2年間初期研修医として働かせていただく、青木理沙と申します。出身大学は東京医科大学で、部活は軟式テニス部に所属していました。実践的な知識、手技ともに分からないことだらけで不安な部分も大きいですが、楽しみでもあります。積極的に学ばせていただきたいです。人とのコミュニケーションを大事にする充実した2年間を送りたいです。よろしくお願い致します。

臨床研修医 印南 公暉

初期研修医1年目としてお世話になります。まだ右も左もわかりませんが、自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。これからよろしくお願い致します。

臨床研修医 栗田 詩織

右も左もわからない状況ですが、チームの一員として患者さんの医療に役立てるよう頑張ります。

臨床研修医 高宮 大稔

今年の春から2年間お世話になります研修医1年目高宮大稔と申します。何もわからない中で手探りでスタートとなりますが、なるべく早く貢献できるようつとめて参ります。2年間どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医 長谷川 舞

筑波大学出身の長谷川舞と申します。出身地は埼玉県の三郷市です。大学在学中は硬式テニスサークルに所属していました。趣味は体を動かすこととバラエティ番組を見ることです。気に入った回は4.5回くらい見直します。筑波大学病院からの褥で1年間お世話になります。よろしくお願い致します。

臨床研修医 古川 歩佑実

たすき掛けで4月から半年間働くことになりました、古川歩佑実です。短い期間ですが、一医療者として研鑽して参ります。よろしくお願い致します。

Doctor's Interview

耳鼻咽喉科 統括診療部長

瀬成田 雅光

日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医



Q1 先生の得意とする疾患を教えてください。

瀬成田Dr：耳鼻咽喉科の疾患全般を診ることが出来ます。特に力を入れているのが頭頸部腫瘍、鼻疾患、難聴・めまいなどの診断治療を得意としています。

Q2 紹介して頂く際にこんな症状が出たらすぐ紹介してくださいなど、紹介時の着眼点などはありますか？

瀬成田Dr：強いてあげるとすれば、急性疾患です。扁桃炎や咽頭炎、気道の問題が疑われるケースで、例えば喘鳴がするとか、ふくみ声あるいは唾液が呑み込めないなど、そういう状況があれば急を要しますので直ちに紹介頂けると幸いです。

Q3 症状が落ち付いて、開業医の先生方にご紹介する際に気を付けている事などありますか？

瀬成田Dr：当院で治療する疾患は悪性疾患が多いため、そういった性格上いわゆる逆紹介というのが難しいことがあると思います。先生方のお手を煩わせない範囲で可能なものはお願いしたいと思っておりますのでその際はよろしく願いいたします。

Q4**ご紹介して欲しい症例などありますか？**

瀬成田Dr：これは従前から申し上げておりますが、田舎な病院のマイナーな診療科ですので、あれが出来ない、これが出来ないなど言われてられないと言うのが現実です。なので何でも困った症例があれば遠慮なくご紹介頂ければ幸いと思っております。ただ、私が今やっていないのが、中耳の手術、いわゆる鼓室形成術と、睡眠時無呼吸症候群です。それから小児科医が居ませんので、小学生以下の小児の手術は行っておりませんのでその辺はご理解いただきますようお願いいたします。

インタビューは以上になります。ありがとうございました。





国際学会で 発表してきました！

放射線科 金居 啓介

2024年2月28日～3月3日にかけてウィーン（オーストリア）にて開催された欧州放射線学会（Europe Congress of Radiology：ECR2024）に参加してきました。この学会は欧州最大の放射線学会であり、欧州のみならずアジアを含むたくさんの地域から参加者のある学会です。冬季のウィーンは極寒だと聞いていたのですが、実際は暖かい日が多くとても過ごしやすかったです。また、初めて見るウィーンの街並みは、中世の建物がそのまま残っているところが多く、タイムスリップしたような不思議な気分になりました。

私は今回、「急性期脳梗塞における最大値投影画像を用いた頭部単純CTの有用性」について、Electronic Presentation Online System(EPOS)という学会独自の電子ポスター形式にて発表をしてきました。さらに、提出された全ポスターの中のTop 500に選ばれたため、口頭での発表機会を得ることができました。もちろん



英語での発表は初めてだったので、ステージはカジュアルな雰囲気だったものとても緊張してしまい、うまくしゃべることができませんでしたがとても良い経験となりました。

他の発表では、世界各国の放射線科医や放射線技師が参加していて、学術的な知識のみならず異なる文化背景や言語の必要性を感じる大変良い機会となりました。また、研究発表だけでなく世界中の機器メーカーが最新のCTやMRIなどを展示する巨大な会場もあり、日本ではあまり見られないメーカーの機器にふれ、違いを感じることができました。

最後に、この貴重な機会を与えてくださった院長、副院長、放射線科の皆様、また長期出張を心よく送り出してくれた家族にこの場を借りて深くお礼申し上げます。

地域のみなさんと繋ぐ 救急看護

救急看護認定看護師 田中 愛美

私は救急看護認定看護師として地域の皆さまに「出前講座」を通して、医療に関わる知識や技術の提供を行っています。中学校や高校、一般団体や施設から幅広くのご依頼をいただきました。今回は私の専門分野である救急看護を活かした地域の皆さんとの研修の一部を紹介します。

まず「急変時の対応」については、人間が生きていく上で、どのような状態になると危険なのか、救急車を呼ぶタイミング、救急隊や搬送先病院が患者・家族から知りたい情報はどのようなものか。など皆さんのご質問に答えながら一緒に共有することが出来ました。さらに「緊急時の蘇生」に関しては蘇生について、



ご自身は？ご家族は？どう考えているのか？治療をどこまで希望するか？という話題に触れながらみんなで考える時間が持てました。

学生さんとは一次救命処置法について実際に人形を用いて実践を行い、発見と通報、AEDの設置場所はどこか？質問にお答えしながら、命を救うことの大変さを学んでもらいました。

緊急時・急変時の状態である患者さんは、待たなしの状態であることがほとんどです。早期治療の開始が出来るように迅速なケアの提供を目指します。またご家族の治療に対する思いや希望に寄り添えるような看護を大切にしています。



当院との医療連携登録医療機関

地域の医療機関のご紹介



かしろ整形外科・内科クリニック

院長 神代 秀彬

[住所] 水戸市平須町1828-26
[電話] 029-241-0148



院長挨拶

かしろ整形外科・内科クリニックは令和6年4月に水戸市に開業いたしました。それまでは同市内で神代内科医院にて祖父と父が地域医療に携わっておりました。今後は父とともに地域の皆様のお役に立てるように努めてまいります。



診療方針

日本は今、世界有数の長寿大国となっております。日本の平均寿命は男性は81.4歳、女性は87.4歳となっております。しかし平均寿命は伸びているものの健康寿命は男性72歳、女性75歳となっており約10年の差があり、この期間は介護が必要な状態であり満足な生活ができない状態です。

例えば整形外科的な領域では骨折や変形性関節症、脊椎・脊髄疾患などにより健康寿命が終わることがあります。当院は「人の力、医療の力を通して人々の健康寿命を延ばし、日常生活を豊かにする」をモットーに一般的な治療はもちろん、運動療法、骨粗鬆症治療を通じてみなさまの健やかな毎日に貢献できるように努めております。



アクセス
(公式ホームページ)

[診療科目] 整形外科
内科
小児科
胃腸内科
呼吸器内科
循環器内科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休
PM 2:00~6:00	○	○	休	○	○	休	休



血圧心臓クリニック水戸

内科・循環器内科

院長 萱場 祐司

[住所] 水戸市笠原町978-28
[電話] 029-215-8890



院長挨拶

はじめまして、院長の萱場と申します。これまで、水戸赤十字病院、循環器内科部長として長く診療をしてまいりました。入院の必要な重症患者さんを診療する一方、急性期を過ぎた患者さんの外来でのコントロール、生活管理、生活習慣病等の慢性疾患管理を行っておりました。長期間、水戸赤十字病院、循環器内科は私一人で担っておりましたので、外来が夜間に及ぶ事も多くありました。入院中の加療と外来での加療を両立する事に限界を感じ、この度、外来加療に大きく舵をきって、このクリニックを開業いたしました。



診療方針

- 1 明るく親しみやすいスタッフが対応致します。
- 2 高血圧専門医として、高血圧の適切な治療を行います。
- 3 循環器専門医として、心疾患患者さんの適切な診断、治療を行います。
心房細動、不整脈の患者さんのコントロール、適応があれば、慢性期治療は、生活習慣病の管理に力を入れています。
- 4 総合内科専門医として、生活習慣病や感冒等を適切に診断、治療します。



アクセス
(公式ホームページ)

[診療科目] 内科
循環器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:45	○	○	○	○	○	休	休
PM 2:00~6:00	○	○	○	○	○	休	休

※ 受付時間 / AM 12:00まで PM 5:00まで



診療科各科担当一覧表

2024年4月9日～

R6.4.1 作成

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
循環器内科		* 鮎澤 石井	* 横須賀 伊藤 * 小泉(午後)	* 石井 小泉	* 黒田 田畑	* 田畑 鮎澤	毎週月曜日13:00よりペースメーカー外来 (予約制) 金曜日の新患は紹介状持参かコンサルのみ
呼吸器内科		箭内 * 山岸	遠藤 * 太田	沼田 * 羽鳥	遠藤 * 沼田 山岸	羽鳥 太田	金曜日は再診のみ
消化器内科		* 伊藤 * 小野田	石田(予約) * 下山田 * 岸本	山口(予約) 伊藤 秋山(予約)	鈴木(予約) 伊藤(予約)	石田(予約) * 下山田 * 安部	水曜日は再診のみ 金曜日の新患は紹介状持参かコンサルのみ 木曜日の伊藤は予約のみ 鈴木は月1回第1木曜日に診察 秋山は月2回第2・4水曜日に診察
血液内科		二診枠	* 米野 吉田(近)	* 水曜再診枠 米野	* 堤 吉田(近)	* 法岡 加村	火～金は新患対応可能 コンサルテーションは上段の医師が対応 (火～金) 水曜再診枠は交代制 二診枠は予約患者のみ
神経内科		田代 法岡	井岡	田代(予約) 相澤	田代 法岡	田代 相澤	火曜日は再診のみ 水曜日の田代は完全予約制
精神科		志賀 非常勤①	志賀		志賀 非常勤②	非常勤③	
小児科		全 面 休 診					
消化器外科		武藤 宮澤 伊瀬谷	加藤(丈) 福永	加藤(丈) 成田(午前) 非常勤	福富 小林	米山 山本 福永(予約)	
乳腺外科		森 小坂		森 植木(予約)	橋本(予約)	森 小坂(午後)	水曜日の植木は予約のみ 木曜日の橋本は午前中(予約のみ) 金曜日の森は第3金曜日は午前・予約のみ
臓器移植外科		全 面 休 診					
呼吸器外科			稲毛(予約)			中村(亮)	
心臓血管外科		佐久間		相馬		佐久間 相馬	
血管疾患外科				担当医			
整形外科		江藤 小林	小川 森田(午後) 薬師(亮)(午前)	小川(午後) 上原 大山(午前)	小林 平林 奥脇	小川(予約)	完全予約制(金曜日は手・肘・肩の完全予約制) 入院コンサル可(月～木) 木曜日の奥脇は奇数週のみ診察
形成外科			佐々木 埴原 櫻井(優)	松本 佐々木(予約)	佐々木 埴原 櫻井(優)	交代制(予約)	水曜日の佐々木は完全予約制、乳房再建のみ 水曜日：診察時間 14:00～15:00 金曜日：完全予約制(コンサルは事前予約可、地域予約のみ)
リハビリテーション科		小川	江藤	上原	江藤	小川	外来患者は直接行いません (整形外科に通院中の患者のみ) 入院患者の受付は毎日行います
脳神経外科		佐藤 交代制	小沼 交代制	加藤(徳) 丸山 安田	中村(和)	加藤(徳) 佐藤	安田は月1回第1水曜日に診察(脊髄疾患中心)

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
皮膚科		*安重	*安重	*安重	*安重	*安重	アレルギー検査・生検依頼については予約要
泌尿器科		飯沼 市村 高橋(祥) 高橋(佳)	市村		飯沼 市村 高橋(祥) 高橋(佳)	飯沼 高橋(祥) 高橋(佳)	金曜日の高橋(佳)は奇数週のみ診察 金曜日の高橋(祥)は偶数週のみ診察
婦人科		全 面 休 診					入院患者のみ火曜日コンサル可 受付時間：8:30～11:00
産科		全 面 休 診					
眼科		平塚 関	平塚 関	平塚 関	平塚 関	平塚 関	
耳鼻咽喉科		瀬成田 吉村	瀬成田 吉村	瀬成田 服部		吉村 服部	水曜日の午後は腫瘍外来のみ（予約制）
麻酔科		全 面 休 診					
歯科口腔外科		当番医	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	当番医	外来新患は火・木のみ（地域医療連携センター利用不可） 入院新患者は月・金のみ 周術期外来は月・金で予約制
放射線治療科		大川	大川 村上(午前)	大川 櫻井(英)(午後) 原田(午後)	大川	大川 大西(午前)	初・再診ともに完全予約制
代謝内科			高橋				入院患者のみ 診察受付時間：9:00～10:00
腎臓内科						白井	院内コンサルテーションのみ 新患不可・紹介患者不可
緩和ケア内科					小林		院内コンサルテーションのみ 新患不可・紹介患者不可

注 *は新来患者を診察する医師

注 (予約)は再診の予約患者のみの診察

※ 診療日時については、変更となる場合がありますので、予めご承知ください。

※ 当院は全科予約制となっておりますが緊急患者・他院からの紹介患者が優先になりますのでご了承ください。

受付時間	8:30～11:00 再来受付機 7:30～11:00 〈予約の方は予約時間まで〉
診療時間	9:00～



〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280
国立病院機構 水戸医療センター
TEL. 029-240-7711 (代表)





Σ (幸・不幸) ≒ 0?

院長 米野 琢哉

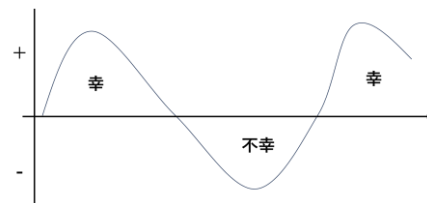
3月にメジャーリーガーの大谷選手の突然の結婚報道があり、野球ファンならず多くの国民が驚いたことと思うが、そんな祝福ムードのなかで今度は通訳のM氏のスポーツ賭博報道があり連日世間を騒がす事態となっている。大谷選手からすれば幸と不幸が立て続けに起こってしまい大変な心労であろう…と、部外者である私が心配してもしようがないのだが、とにかく今期も活躍して皆を喜ばせてもらいたいと願う。

ところで、人生において幸せの総量と不幸せの総量は足し合わせると≒ゼロなのか？ということの時々考える。幸をプラス、不幸をマイナスとすれば、一生で通算するとゼロなのか？ということだ。先人のことわざには「沈む瀬あれば浮かぶ瀬あり」とか、「禍福は糾える縄の如し」などがあり、幸・不幸にかかる事態は繰り返すものと考えておくのが間違いはないのであろう。

しかし、幸も不幸も本人がどう感じるかという「主観的な感覚」である。他者からみれば、些細な出来事と思われる事態を当事者がすごく不幸に感じてしまう事もあり、その逆もある。ゆえに幸・不幸の心理的反応は個人

の課題と突き放すこともできるだろうが、職場のリーダーはそうはいってられない。最近企業の経営戦略としてウェルビーイング経営を耳にするようになった。従業員のウェルビーイングな状態（幸せを持続的に感じる状態）が、企業価値を高めるという。ウェルビーイングを規定する因子として、「個人のあり方」以外に本人の所属組織での「関係の質」が影響するそうだ。

最初の命題「人生において幸・不幸総量≒ゼロなのか？」に戻ると、幸・不幸には、個人のあり方以外に、個人の所属する組織やコミュニティの存在も大きく影響する。「関係の質」により個人の幸・不幸総量は、プラスにもマイナスにもなり得るのだろう。その意味で、組織リーダーの責任は重い。私自身は、塞翁が馬の心境で職務にあたることにしよう。



募集

非常勤事務助手（医師事務作業補助者）

事務業務から、医療に関わる。
貴方の能力を当院で発揮しませんか？

- 【職種】 非常勤事務助手
- 【期間】 採用日～年度末原則として年度更新を予定 ※ 試用期間なし
- 【場所】 水戸医療センター
(職員数836名 R6.1.1現在)
- 【業務】 書類作成、患者説明業務、データ入力、電話対応など
- 【資格】 簡単なExcel・Word (ワープロ入力は必須)
※ 一般事務経験があれば尚可

- 【給与】 時給1,110円 (経験・資格に応じて昇給の可能性あり) その他諸手当あり
- 【時間】 8時30分(固定)～17時15分の間で6時間程度、週32時間、休憩30分～60分(規程に従う) 勤務週5日
- 【休日】 土・日・祝、年末年始
- 【待遇】 賞与年2回(74,400円/前年度実績)、交通費規定内支給、社会保険完備、制服貸与、育児介護休業取得実績あり、マイカー通勤可(駐車場あり)

応募方法

- ① 履歴書(様式自由) ※ 写真を必ず添付すること
 - ② 職務経歴書(任意)
- を当院採用担当宛郵送してください。書類選考通過者のみ今後の選考について連絡いたします。

連絡先

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番
水戸医療センター 採用担当宛
TEL: 029-240-7711

※ その他職種についても募集あり！詳細は当院HPをご確認ください。